

大津町議会活性化特別委員会 意見交換会記録

会議名	町議会の議員定数に関する意見交換会
日時	令和6年5月25日(土) 14時00分～
場所	大津町役場 1階 多目的室
参加者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公募応募者 8名 (別紙名簿参照)</li> <li>・桐原議長</li> <li>・議会活性化特別委員会委員 5名 (山本委員長、佐藤副委員長、大塚委員、田代委員、大村委員)</li> <li>・議会事務局 3名 (荒木局長、田上次長、飯塚書記) <span style="float: right;">合計 17名</span></li> </ul> <p>※読売新聞 記者が取材のため傍聴</p>
次第	<p>司会：大村委員</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 開会</li> <li>2. 議長挨拶</li> <li>3. 参加者紹介 (自己紹介)</li> <li>4. 趣旨説明 (山本委員長)</li> <li>5. 資料説明 (佐藤副委員長)</li> <li>6. 意見交換</li> <li>7. お礼の言葉 (大塚委員)</li> <li>8. 閉会 (14:15)</li> </ol>
<p>意見概要</p> <p>Aさん 議員定数は減らして報酬をあげるべき。財源確保のためにも定数減と報酬増はマッチさせて考えるべき。若者にとって議員が魅力ある職業であると思ってもらうためにも報酬増などの施策は必要。報酬は最低でも30万円ぐらいにすべき。</p> <p>Bさん 町議員の報酬は確かに安いと思うが、兼業ができることも考えないといけない。議員の成り手がいないのは、議員そのものに魅力がないのではないか。それは議員の質問の質が低いことや、今の議員の活動が目に見えてこないことなどが原因であると思う。個人的には定数も報酬もおもいっきり増やして、もっと魅力的な議員を増やす方が良いと思う。また、議員が活動しやすくするためにも政務活動費も出すべきでないか。</p> <p>大津町の町民は選挙への意識も低いように感じる。もっと女性議員が増えて欲しい。</p> <p>Aさん 町議会では外国の様にクォーター制を導入して女性議員の割合を増やすことはできないのか。</p> <p>回答 町議会も地方自治法に基づいているため、法が変わらない限り町議会での導入は難しい状況。</p> <p>Bさん もっと地方への裁量権を与えて変えていくべき。無投票でなった議会は魅力もない。</p> <p>回答 議員の成り手不足については国でも様々な議論・検討がなされている。私たち議員</p>	

としては町議会としてできることを考え一歩ずつ取り組んでいるところ。

Cさん 今の議員報酬が10分の1になった場合、議員の皆さんは辞めるのか。辞めないのであれば報酬を上げる必要はないのではないかと。

また、今日の会議も若い人がほとんどいないが、それが問題であり町の将来の発展に釘を刺していると思う。

回答 今回は公募ということもありこの様な年齢層構成となったが、先日は区長会と意見交換を実施し、来週は町PTA連絡協議会との意見交換会も行いうところ。なるべく様々な年代のご意見を伺いたいと考えている。

Dさん 定期的に議会を傍聴しているが、議会を見ていると議員定数は減らして報酬は27~28万円ほど上げて良いと思う。

Aさん 私も傍聴に行っているが、期数が長い議員ほど後ろの方で何もしていないようにも見える。思い切って定数12まで下げても良いのではないかと。その分報酬を上げて若い人議員を育てていった方が議会が活発化すると思う。

回答 若い人達は報酬を4~5万円程度あげても議員になりたいと思わず、子育てしながら生活するためには40万円程度は必要との意見もある。また、議員としては専業・兼業どちらが良いのかなど色々なご意見があることはご承知いただきたい。

Bさん 年代的には20代などもっと若い人に議員になって欲しいが、経験も大事なので30代や40代などもバランス良くいて欲しい。そのためには魅力ある報酬は必要。また定数は減らすことだけを目的とせず、増やして報酬を上げることも検討して欲しい。

Cさん 女性議員を増やしたいのであれば、議員報酬を上げた方が増えるのではないかと。月24万円では家庭を持った方は立候補しないのではないかと。

Eさん 子育て中の若い世代としては自分たちの生活を成り立たせるだけで精一杯であり、議員になる壁も高い。若い世代が議員に魅力を感じるためには報酬は上げていくべきと思う。

定数については、大津町の人口が増えている中で定数減とすることが本当に町のためになるのだろうかという疑問に思う。定数のことは報酬と別に考えるべき。

Aさん 施策を実行する担当は町職員であるため、議員数が減ったからといって町行政にブレーキがかかることは無いのではないかと。

回答 町政は2元代表制を基本としており、執行部側が提案してきた内容に対して、議会では十分に議論・判断できる力が必要となる。そのためにはそれなりの人数が必要となる。

Fさん 成人して初めてこのような場に参加したが、大津町でもこのような問題を抱えていることを知ることができたのが第一歩である。どの意見に対してもなるほどと思うところがあり、まだ自分の考えを言えるまでには至っていない。

疑問として、なぜ女性議員が多い方が良いのか。女性の意見の代弁者は女性でなくても良いのではないかと。

回答 町民の考えを聞いて政策に反映させていくためには、年齢や性別、職業など町民の様々な多様性が議会に縮図として反映できることが理想であり、そういう意味では女性が半分程度いるのが本来あるべき姿であると考えている。

女性議員が増えて、当事者として女性の視点からどんどん意見を言っていただくと議会が活性化すると考える。